

(社) 日本原子力学会
第 58 回倫理委員会議事要旨

日 時 平成 23 年 9 月 21 日(水) 09:30～12:30
場 所 北九州国際会議場 31 会議室
出席者 北村委員長、大場副委員長、作田幹事、内山委員、辻委員、中野委員、
平野委員、宮越委員、山本理事 (9 名、委員名簿順)

配布資料

- 資料 58-1 第 57 回倫理委員会議事要旨 (案)
- 資料 58-2 福島第一原子力発電所事故に係る情報発信について
- 資料 58-3① 第 37 回技術倫理協議会議事録 (案)
- 資料 58-3② 2011 年度公開シンポジウム企画 (案)

議事

1. 資料 58-1 により前回議事要旨 (案) を確認し、承認された。
2. 資料 58-2 により平野委員から F A Q のホームページ作業進捗状況および現段階での課題についての説明があった。ホームページへの掲載は完了した。課題は以下の 2 点である。①ホームページ上のリンクボタンが小さくて見づらい。②初期バグは修正済みであるが、今後のメンテナンスについての管理主体が不明確。F A Q へのアクセス分析・アンケート調査、Q & A と F A Q との統合や「原子力 F A Q」の名称見直しなどに関して、種々の意見が出された。F A Q については広報情報委員会へ引き継ぐ方向で動き、山本理事が企画委員会、広報情報委員会へ働きかけることとした。その際に、本資料を活用することとした。リンクボタンの改善、マニュアルの作成、追加の F A Q 対応については、平野委員が中心となって進めることとした。
3. 資料 58-3①により平野委員から第 37 回技術倫理協議会議事録 (案) の紹介があり、議事録中の宮越委員の発言箇所、および日本原子力学会の活動状況については、それぞれ修正と追加を行う旨の説明があった。

資料 58-3②により大場副委員長から 2011 年度公開シンポジウム企画 (案) の説明があった。「安心」に重点を置いた趣旨については見直す必要があるとの意見が出され、宮越委員および平野委員が速やかに見直し素案を作成し、各委員はメールで意見を提出し、取りまとめ次第、見直し案を協議会に提案することとした。10/3(月)の協議会には平野委員、宮越委員、山本理事が出席することとした。また、原子力分野の講演内容については、講演者と事前に打合せを行うこととした。

4. 2012 年春の年会における企画セッションについては、中野委員と内山委員が担当することとした。テーマは、福島第一原子力発電所事故に関連する内容で、技術だけでは解決できない問題、技術と社会の両者に関連するような、例えば「安心と安全」や「規制」などについて取り上げることとし、講演者の人選も含めた詳細内容は担当委員が検討することとした。
5. 2011 年秋の大会における企画セッションについて、その進め方などに関して最終の確認を行った。
6. 福島第一原子力発電所事故を踏まえた今後の倫理委員会活動について議論を行い、事業者と規制の関係、リスクベース規制、安全の線引き問題、テクノロジーと技術倫理、生命倫理など幅広い意見が出され、今後とも議論を継続していくこととした。
7. 次回倫理委員会は、平成 23 年 11 月 22 日（火）13:30～ 原子力学会事務局会議室で開催することとした。

以上